

令和 7 年度辰口中学校冬季通学利用バスの運行について

能美市企画振興部企画地域振興課

目 次

1. 辰口中学校冬季通学利用バスの概要.....	P1
2. 令和 7 年度辰口中学校冬季通学利用バス運行内容(案)について.....	P2～4
3. 運行内容(案)検討にあたって.....	P5～6
4. 参考資料	
(1)過去の運行実績.....	P7
(2)令和 7 年辰口中学校冬季通学利用バスアンケート調査結果.....	P7

1. 辰口中学校冬季通学利用バスの概要

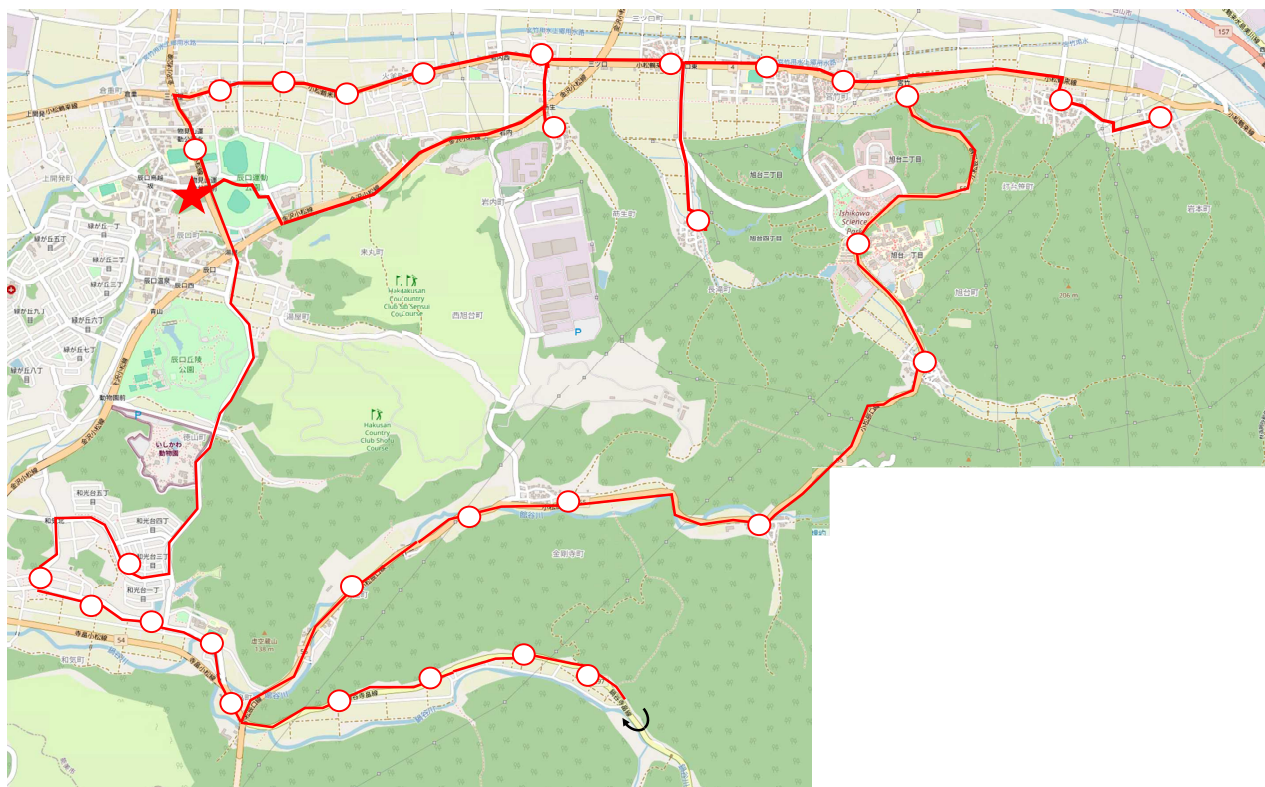
冬季間の積雪により自転車等での通学が困難となる国造地区及び遠距離通学となる岩本町・灯台笹町方面地区にお住いの生徒を対象として、能美市コミュニティバス「のみバス」の運行を活用して実施している。

過去の運行実績や、今回の運行案の検討に際して実施したアンケート調査の結果より、今年度においても、冬季の遠距離通学における交通手段の確保を図る必要があると判断し、次のとおり運行内容(案)を検討したため、運行の賛否について、本協議会に諮るものである。

これまで、冬季通学利用バスの運行にあたっては、対象地区の辰口中学生に対し、利用意向確認アンケートを実施し必要台数を確保しているが、利用者の実人数との差が大きく低乗車率での運行となっていた。

今年度は、活用できるバスの台数が昨年度までの3台から2台となることから、利用者の実人数に近い座席数でのバスの運行となるよう、受益者負担を求めつつも、当該バスを毎日利用する生徒にとっては割安となる冬季通学用フリーパス券を運用しての運行としたい。

●辰口中学校冬季通学利用バス エリア図



2. 令和7年度辰口中学校冬季通学利用バス運行内容(案)

運行期間：令和8年1月8日（木）～2月20日（金）

※ただし、土日祝日は運休とする。

※積雪の状況により、運行期間を延長する。

運行時間：

朝の便（バス車両2台で運行）

岩本町・灯台笹町方面（岩本～三ツ屋）（和光台）

岩 本 発 7:21 → 物見山総合体育館前 着 7:35 利用者 29 人

和光台 発 7:45 → 物見山総合体育館前 着 7:55 利用者 27 人

国造地区方面

宮竹東 発 7:18 → 物見山総合体育館前 着 7:55 利用者 28 人

夕方便（バス車両1台で運行）

和光台、和気町、寺畠町 利用者 32 人

物見山総合体育館前 発 18:05 → 和光台経由－ 寺畠 着 18:17

岩本町・灯台笹町方面 ⇒ 国造地区方面 利用者 28 人

物見山総合体育館前 発 18:27 → 宮竹経由→口鍋谷 着 18:59

利用料金：冬季通学用フリーパス券 3,000 円（冬季通学利用バスの運行期間内有効）

（昨年度）利用料金：運賃 1 回あたり 100 円（現金、回数券）

定期券（通学用 1 か月 2,000 円）

バ ス 停：物見山総合体育館前は臨時バス停を設置、それ以外はのみバスの停留所を利用

運行ルート・ダイヤ(案)：(P3, 4)

●運行ルート・ダイヤ(案)

※物見山総合体育館前以外は「のみバス」のバス停が乗降場所となります。

<岩本町・灯台笹町方面（朝）>



<国造地区方面（朝）>



<和光台・和気町・寺島町方面（夕）>



和光台・和気町・寺島町 行き（夕方）		
順番	停留所名	時刻
1	物見山総合体育館前	18:05
2	和光台	18:13
3	下和気	18:15
4	寺島	18:17

<岩本町・灯台笹町方面→国造地区方面（夕）>



3. 運行内容(案)検討にあたって

対象地区にお住まいの辰口中学生に対して、事前のアンケートを行い、次のように工夫した。

○利用者の実人数に近い座席数でのバスの運行となるよう、「**冬季通学用フリーパス券**」を使用しての利用意向調査とした。

「冬季通学用フリーパス券」の内容(案)

有効期間：辰口中学冬季通学利用バスの運行期間内

令和8年1月8日(木)～2月20日(金)44日間(積雪状況等で延長)

対 象 者：国造地区方面及び灯台笹・岩本町方面にお住まいの辰口中学生

販売価格：3,000 円

※販売価格の根拠について

通学用フリーパス券(定期券)1か月運賃 2,000 円

1日あたりの単価(定期運賃÷換算日数) 2,000 円÷30 日=66.7 円

冬季通学用フリーパス券運賃(1日あたりの単価×冬季バス運行日数)

66.7 円×44 日間=2,935 円≒3,000 円

「冬季通学用フリーパス券」の導入による効果

項 目	R 7	R 6	増 減
収入(円)	258,000	208,100	49,900
アンケート利用希望人数(人)	86	116	△ 30
実人数(人)	86	67	19
延べ乗車人数(人)	2,666	2,070	596
支出(円)	1,000,000	1,534,000	△ 534,000
バス台数 朝(台)	2	3	△ 1
バス台数 夕(台)	1	2	△ 1
支出－収入(円)	742,000	1,325,900	583,900

R7は見込み

○利用を希望する生徒がいないバス停は非経由とし、運行時間を短縮。

長滝、苅生、来丸、アルビス辰口店前、山田(夕方便0人)

上鍋谷、鍋谷八幡神社、上和気、中和気、中鍋谷(夕方便0人)、

○バス車両の乗車定員は33人であるが、朝の和光台の生徒数がのみバス定員を超えるため、岩本町・灯台笹町方面と国造地区方面の2台が同時刻に到着するダイヤとする。

また、岩本町・灯台笹町方面のバスは一旦、物見山総合体育館前で生徒が降車するルートとする。

	便名	最大車中人数
朝	岩本町・灯台笹町方面（岩本→三ツ屋）⇒物見山総合体育館前	29人
	岩本町・灯台笹町方面（和光台）⇒物見山総合体育館前	27人
	国造地区方面⇒物見山総合体育館前	28人
夕方	物見山総合体育館前⇒和光台、和気町、寺畠町	32人
	物見山総合体育館前⇒岩本町・灯台笹町方面⇒国造地区方面	28人

○直近の3年間では、12月中の積雪が見られなかったことから、運行開始は3学期の始業日の1月8日(木)とする。運行終了日は、2月20日(金)としているが、積雪状況に応じて、運行期間の延長を行う。

○部活動がない水曜日や部活動を引退した3年生において、早い出発時刻での夕方の便を希望する意見があったが、当該時間帯は車両の空きがないため、対応ができない。

通常運行しているのみバスのルートを下校に活用できる可能性があるため、併せて生徒へ周知を行う。

下校時に活用できる可能性のある通常のみバスルート

辰口中学校終業時間

・平日（水曜以外）15：25、15：55 ・水曜 14：10、14：35

和光台・館町方面の方

連携ルート（日中）能美根上駅方面物見山運動公園 16:05 発→
辰口福祉会館乗り継ぎ→ 循環ルート（坪野方面）

宮竹町方面の方

① 連携ルート（日中）能美根上駅方面物見山運動公園 16:05 発→
辰口福祉会館乗り継ぎ→ 循環ルート（岩本方面）

② 連携ルート（日中）能美根上駅方面物見山運動公園 15:09、16:09、17:09 発

和気町・寺畠・鍋谷方面の方

連携ルート（日中）能美根上駅方面物見山運動公園 16:05 発→
辰口福祉会館乗り継ぎ→ 循環ルート（鍋谷方面）

4. 参考資料

(1)過去の運行実績 ※令和4年度から令和7年度まで ※令和7年度は予定

年度	利用者数(人)			前年度 比	運行期間	運行 日数	1日平均 利用者数 (人)
	国造地区 方面	岩本・灯台笹町 (⇒国造地区)方面	合計				
令和4年度	706 (101)	847 (102)	1,553	73.0%	R5.1.10～ R5.2.22	31日間	50.1
令和5年度	831 (99)	653 (92)	1,484	95.6%	R6.1.9～ R6.2.22	32日間	46.4
令和6年度	1,260 (90)	810 (98)	2,070	139.5%	R7.1.8～ R7.2.21	31日間	66.8
令和7年度	— (89)	— (91)	—	—	R8.1.8～ R8.2.20	30日間	—

※括弧内は対象生徒数

(2)令和7年度辰口中学校冬季通学利用バスアンケート調査結果

※今年度は利用希望者のみに回答いただいた。

※兄弟で1回答。

対象者数： 180人 岩本・灯台笹方面 91人

国造地区方面 89人

回答件数： 85件 岩本・灯台笹方面 37人/91人 (40.7%)

国造地区方面 48人/ 89人 (53.9%)

回答率： 47.2% (令和6年度：77.3%)

ご意見：

- ・水曜日は部活がないので、早い時間にしてほしい。
- ・テスト週間は下校時間が早くなるので、バスも早くしてほしい。
- ・部活のない3年生や社会体育部所属の生徒のことを考慮してほしい。
- ・運行期間を早めてほしい (12月から)
- ・通年で運行してみたらどうか。(保護者の負担減のため)
- ・学割 (冬季通学用フリーパス券) を2,500円にしてほしい。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価について

<概要>

能美市コミュニティバスの幹線系統である連携ルート（日中）の維持を目的として、当該系統の運行を地域公共交通確保維持事業と位置づけ、国庫補助である地域間幹線系統確保維持費国庫補助金の交付申請を行っているところである。

本協議会において、事業の実施状況や達成状況についての評価を行う必要があり、以下、様式 別添1 及び別添1－2 に示す評価案に対するご意見をお伺いするもの。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

別添1

令和7年12月23日

協議会名： 能美市地域公共交通協議会

評価対象事業名： 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回（又は類似事業）の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 （特記事項を含む）
北鉄白山バス(株)	連携ルート（日中） ＜区間＞ 能美根上駅～先端大学 能美市立病院～先端大学 能美市立病院～大口～先端大学	時刻表の発行やバスの乗り方教室（出前講座）を実施した。コミュニティバスの年間利用者数については目標を上回ったが、出前講座・バス広告については、目標を下回った。	B ・事業期間中、地域間幹線バス系統として「のみバス」連携ルートを運行した。 ・計画に掲げる事業（公共交通ガイド（市内公共交通の時刻表）作成、出前講座の実施、バス広告の継続事業者を確保した。	B ・コミュニティバスの年間利用者数目標170,000人に対し、実績174,323人と目標を上回り達成した。 ・コミュニティバスの年間収支率目標16.0%に対し、13.5%と、収入は増加しているものの、人件費等運行費用も高騰しており目標を下回った。	収支率改善に向け、引き続き、時刻表の発行・バスの乗り方教室（出前講座）の実施により周知を行い、利用者数（運賃収入）の増加に努める。また、バス広告の獲得により広告収入の増加に努める。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和7年12月23日

協議会名：	能美市地域公共交通協議会
評価対象事業名：	地域間幹線系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	能美市は石川県南西部の日本海から中山間地域にかけて位置し、人口は49,676人(令和7年12月1日現在)、面積は84.14平方キロメートルの市である。 金沢・小松方面へつながる南北軸の移動手段として鉄道や民間バス路線が、東西軸の移動手段としてコミュニティバス(連携ルート)を運行しており、網目状のネットワークを形成している。これらの、地域の住民の通勤・通学、通院等の移動に利用され、必要不可欠な移動手段となっている既存の交通網の確保維持及び、高齢者や学生をはじめ、誰もが利用しやすく、安全で快適に移動できる環境づくりを推進していく必要がある。

能美市公共ライドシェア「ノルノミ」の 利用状況等について

1 概要

- ・ 運行開始日：令和 7 年 3 月 24 日(月)
- ・ 運行管理・予約受付等：公益財団法人能美市ふるさと振興公社
- ・ 運行エリア：国造地区周辺 10 町会（和気町・寺畠町・舘町・金剛寺町・坪野町・鍋谷町・仏大寺町・上徳山町・下徳山町・湯屋町）と辰口地区、寺井地区の中心地の指定乗降場所
- ・ 利用者：対象 10 町会の住民
- ・ 利用方法：LINE または電話で会員登録
- ・ 予約方法：前日 17 時までに LINE または電話で予約
- ・ 乗車方法：乗車予定時刻に予定場所で乗車
- ・ 運行時間：平日の 9 時から 16 時
- ・ 利用料金：のみバス回数券 5 枚（のみバス回数券は 11 枚綴り 1,000 円）

2 利用状況

利用登録者：49 人

運行実績回数：延べ 24 回

ドライバー登録者：7 人

R7	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
利用登録者	27	1	0	16	1	1	1	1	1	0
運行実績回数	2	0	0	9	1	4	0	2	2	4

6 月には、乗車体験キャンペーンと銘打って、無料運行を実施し、延べ 9 回の利用があった。その他、老人会等各種イベントでの周知活動や定期的に各町会の住民に戸別訪問を行い、利用促進を図ったが、利用者数は伸び悩んでいる。

3 利用者の声

- ①前日までの予約ではなく、乗りたい時に連絡して乗れると良い
- ②複数人で利用する時には割り引きして欲しい
- ③運行時間を拡大して欲しい
- ④のみバスと比較して料金が安い

4 検討課題

- ①利便性の向上（予約・運行時間等）
- ②エリアの検討
- ③料金が安いとの声もあるので、料金の検討
- ④ドライバーの登録者数を増やす必要があり、そのためのドライバー報酬の検討



能美市版 公共ライドシェア



ノルノミ
NoRU NoMI

ノルノミ
人をまちをむすぶ

ノルノミを使うと

- ①重い荷物を家の近くまで運ぶことができる！
- ②ノミバスが走っていない時間に移動できる！
- ③行きたい場所にバスより早く到着できる！

ノルノミの利用は事前に会員登録が必要です。

スマートフォン
をお持ちの方

まずはLINEで
友だち登録！→



住民が住民を
送り迎えする
サービスです。

お電話
からの
予約・登録

0761-51-4522

能美市ふるさと振興公社(受付時間 9:00-17:00 ※平日のみ)

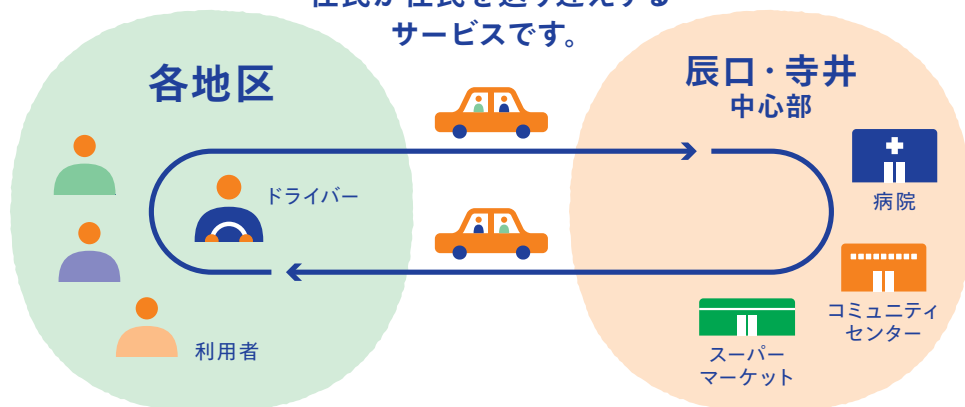
ノルノミを利用してみませんか？

能美市版
公共ライドシェア

人を まちを むすぶ



住民が住民を送り迎える
サービスです。



国造地区周辺エリアの「のみバス」循環ルート（鍋谷・坪野方面）の沿線10町会から、辰口中心部および寺井中心部への移動を対象に、ご近所さんのマイカーを利用した新しい公共交通サービス「ノルノミ」。日々のお買い物や通院などに、ぜひご利用ください！

旅客の対象者

国造地区等の10町会の住民

（鍋谷・仏大寺・館・金剛寺・坪野・寺畠・和気・下徳山・上徳山・湯屋）

片道1人あたり

のみバス回数券 5枚
11枚綴り1,000円

運行日

平日のみ

予約方法

LINEまたは電話
※前日17:00まで

ドライバー

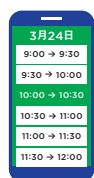
の外出予定と

利用者

のニーズをマッチング

① ドライバーが運行できる
日時を事前に入力

※9:00～16:00間で運行



② 乗降場所や日時を
選択して予約

※予約は前日の17:00まで ※ドライバーが運行可能日時のみ利用可



③ 乗車時間が近づくと
LINEに再確認通知
が届く



④ 乗車して、
のみバス回数券で
お支払い



片道
のみバス回数券
5枚

のみバス回数券

価格

11枚綴り1,000円

販売場所

のみバス車内
市民サービス課
寺井サービスセンター
根上サービスセンター
辰口福祉会館

ノルノミのドライバーに
なりませんか？

マイカーでの外出が、地域を活性化させる

市民の移動手段として、ご自身の自家用車と空き時間を活用し、運行業務を行います。地域に貢献でき、地元の人との温かな交流がやりがいになります！

お問い合わせ



0761-51-4522

能美市ふるさと振興公社（受付時間 9:00-17:00 ※平日のみ）

人を まちを むすぶ

